

性犯罪者に対する再犯防止プログラム～地域ガイドライン～（仮称）の開発に係る調査研究業務 調査等結果報告書の概要

1. 調査研究概要

1.1 調査研究の目的

性犯罪者の再犯防止に関する取組の実効性を期すため、刑事司法手続終了後も矯正施設や保護観察所における専門的な処遇プログラムに引き続き、地方公共団体主体で地域において実施可能な性犯罪者に対する再犯防止プログラム（性犯罪者に対する再犯防止プログラム～地域ガイドライン～（仮称））を作成する。

1.2 調査研究内容

本調査研究においては、再犯防止プログラムの開発に係る調査研究業務として、①地域における性犯罪者に対する取組に係る調査、②再犯防止プログラムの作成（検討会の運営及び連絡調整を含む）、③再犯防止プログラムの試行実施、④性犯罪や再犯防止プログラムの理解促進を図る研修等の企画及び実施、⑤報告書の作成等を実施した。

2. 調査等結果

2.1 地域における性犯罪者に対する取組に係る調査

再犯防止プログラムを作成するため、国内の地方公共団体及び民間団体、学識経験者等の関係機関（以下「関係機関」という。）による先進的な取組の内容、課題、効果、実施基準等、並びに性犯罪者の再犯防止に関して先進的な取組を行っている諸外国の取組について公開情報に基づき情報収集した上で、都道府県、指定都市及び中核市の一部に対するアンケート調査を実施し、さらに特に参考となる取組を行っていると思われる地方公共団体及び関係機関に対してヒアリングを実施した。

これらの調査結果は、個票形式で取りまとめ、検討会において資料として提示した。

(1) 予備調査

性犯罪者に対する再犯防止に関する国内における先進的な取組について、平成30年度～令和2年度に法務省が実施した「地域再犯防止推進モデル事業」の実施結果も参考に文献調査を行い、日本における取組の概況を把握した。

加えて、性犯罪者の再犯防止に関して先進的な取組を行っている諸外国の行政機関や民間団体等における取組についても、日本で地域における再犯防止の取組を進める上で特に参考となり得る情報に焦点を当てて調査した。

(2) アンケート調査

都道府県、指定都市、中核市（法務省において連絡先を把握できている団体のみ）を調査対象として、各地方公共団体における性犯罪者の再犯防止に関する取組状況やその内容、課

題等について調査した。令和4年7月15日に配布し、8月3日を返信期限として回収した。
回収結果及びアンケート調査票の設問概要は表1、表2の通りである。

表1 調査対象

調査対象	対象数	回答数
都道府県	47	42
指定都市	20	20
中核市	43	36
合計	110	98

表2 アンケート調査票の設問概要

分類	設問	項目
回答団体属性	1	組織名、所属部署名、連絡先 (TEL、E-mail)
ニーズ	2	再犯防止に向けた性犯罪者に対する支援の問い合わせの有無
取組有無	3	性犯罪者の再犯防止に向けた取組の実施の有無 【取組を実施していない団体のみ】実施していない理由
取組内容	4	取組実施のきっかけ
	5	性犯罪者本人に対する支援内容
		性犯罪者への対応をする職員への支援内容
		地域の民間団体や住民に対する働き掛け
	6	連携機関
		刑事施設や保護観察所、地域での支援を行う関係機関との連携方法
	7	取組の工夫
	8	取組全体の効果
	9	性犯罪者本人の支援における課題
性犯罪者への対応をする職員への支援における課題		
地域の民間団体や住民への働き掛けにおける課題		
取組実施／拡大意向	10	取組実施／拡大の意向
		実施／拡大にあたり必要と考える情報
性犯罪者に対する再犯防止プログラムへの関心	12	性犯罪者に対する再犯防止プログラムの使用意向
		使ってみたいと思う理由、使ってみたくない理由
	13	性犯罪者に対する再犯防止プログラム試行実施の参加意向

(3) ヒアリング調査

予備調査及びアンケートの調査結果を基に、特に参考となる取組を行っている地方公共団体や関係機関等を選定し、具体的な取組内容や実施状況、効果、実務における課題等、公開情報やアンケートだけでは把握できない内容を詳細に調べるためヒアリングを実施した。

地方公共団体（その関係機関を含む）6団体、及び民間団体3団体に対し、令和4年8月から10月に調査を実施した。基本的にオンライン会議形式によるヒアリングとしたが、一部の地方公共団体については書面ヒアリングとした。

ヒアリング調査項目は表3、表4の通りである。

表3 ヒアリング調査項目（地方公共団体及びその関係機関）

項目	質問概要
性犯罪者の再犯防止に関する取組の内容、方法	<ul style="list-style-type: none"> 取組の概要や実施体制はどのようなものか（取組のきっかけ、性犯罪者にカウンセリングを実施等） 取組の経緯・検討体制はどのようなものか（取組検討の際の有識者・アドバイザーの協力有無や参考にした情報、取組の実施組織体制、対応者のスキルや必要な資格等）
性犯罪者の再犯防止に関する取組における工夫	<ul style="list-style-type: none"> 取組に当たって工夫している点や、取組の効果を高めるための工夫はどのようなものか 他機関との連携に当たって、工夫している点はあるか 対応する職員等の人材育成はどのようにしているか。また、どのような取組が必要だと思うか コロナ禍での取組において工夫している点はあるか
性犯罪者の再犯防止に関する取組の効果、課題	<ul style="list-style-type: none"> 取組に対する性犯罪者等の反応・感想・理解度はどのようなものか。取組により性犯罪者の行動や域内の性犯罪の再犯状況に変化はあるか 性犯罪者やその関係者（家族等）、現場で対応する職員、地域住民等から、再犯防止に関する取組や支援等について問い合わせや要望等があるか。問い合わせや要望等がある場合、どのような内容のもので、どのように対応しているか 取組の効果はどのように確認しているか（取組の効果を測定するための基準を独自に設定している、性犯罪者に対して事後の調査やフォローアップ面談を行っている等） これまでの経験を踏まえ、重要だと考える点や有効と考えられる取組、追加を検討している取組等はあるか。また、効果を感じられない取組等はあるか 取組の実施においてどのような課題があるか。また、その課題解消に向け、どのような取組をしているか。課題に感じている点や改善が必要だと思う点を解消するために、今後実施したい（あるいは実施した方がよいと考える）取組はあるか 現場から見て、どのようなガイドラインや資料等があれば活用しやすいか。使ってみたい資料等はあるか

項目	質問概要
性犯罪者の再犯防止プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法務省委託事業において作成及び試行実施予定の、矯正施設や保護観察所において行われている専門的な処遇プログラムに引き続き、刑事司法手続終了後も、地方公共団体主体で性犯罪者に対する支援が地域で行われるよう、性犯罪者に対する再犯防止プログラムを使ってみたいと思うか。また、その理由は何か ・ 現場から見て、どのようなガイドラインや資料等であれば活用しやすいか。使ってみたい資料等はあるか ・ 性犯罪者に対する再犯防止プログラムの試行実施に参加してみたいと思うか

表 4 ヒアリング調査項目（民間団体）

項目	質問概要
性犯罪者の再犯防止に関する取組の内容、方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組の概要や経緯はどのようなものか（取組のきっかけ等） ・ 性犯罪者の再犯防止プログラム実施体制について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 組織体制（プログラム実施人数、実施者の必要資格・経験等） ➢ プログラム提供場所（立地、都市、全国展開の有無等） ➢ プログラム実施者に対して課している研修の有無（期間、回数、具体的な内容等） ➢ 被害者・加害者の対応に関するリスク管理方法（ファシリテーターは女性のみ対応としない等） ・ 地方公共団体を含む他機関との連携（連携している機関、連携の方法、連携に関する課題等）
実施している性犯罪者の再犯防止プログラムの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施しているプログラムの具体的な内容 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 性犯罪者の再犯防止プログラムの具体的な内容、期間・回数、対象受講者 ➢ プログラムの手法、参考とした取組 ・ 実施マニュアルの有無 ・ 受講者のフォローアップの有無（方法、実績等） ・ 受講者の好事例 ・ これまでにあったトラブルの内容 ・ プログラム実施に当たって工夫している点はあるか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 性犯罪者の受講につながる取組の有無。ある場合はその内容（入口出口支援と併せて性犯罪者に対してはプログラムと関連させた活動をしている等） ・ コロナ禍でのプログラム実施に当たって工夫している点はあるか

項目	質問概要
性犯罪者の再犯防止に関する取組の効果、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組に対する性犯罪者等の反応・感想・理解度はどのようなものか。取組により性犯罪者の行動や域内の性犯罪の再犯状況に変化はあるか ・ 取組の効果はどのように確認しているか（取組の効果を測定するための基準を独自に設定している、性犯罪者に対して事後の調査やフォローアップ面談を行っている等） ・ これまでの経験を踏まえ、重要だと考える点や有効と考えられる取組、追加を検討している取組等はあるか。また、効果を感じられない取組等はあるか ・ 刑事司法手続終了後の性犯罪者に対して、矯正施設や保護観察所において行われている専門的な処遇プログラムに引き続き、地方公共団体主導で再犯防止プログラムを実施するにあたり、どのような課題があるか。また、その課題解消に向け、どのような取組が有効と考えるか ・ プログラム実施に当たって必要と考える制度や国・自治体の取組はあるか。また、どのような公的支援（金銭的、人的、物的など）があればより充実すると考えるか

2.2 再犯防止のための地域ガイドラインの作成

国内外の先進的な取組に関する調査の結果及び検討会における議論、法務省との協議等を踏まえ、「性犯罪の再犯防止に向けた地域ガイドライン～再犯防止プログラムの活用～」(以下「ガイドライン」という。)を作成した。

作成に当たっては、ガイドラインを作成するための有識者検討会を設置し、法務省と協議の上、検討会委員3名を選定・委嘱し、計5回の検討会を表5及び表6の要領でオンライン形式にて開催した。なお、第1回のみ持ち回り会議形式で実施した。

表5 検討会委員（敬称略、五十音順）

氏名	所属
久我 弘典	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター センター長
嶋田 洋徳（座長）	早稲田大学人間科学学術院 教授
東本 愛香	千葉大学社会精神保健教育研究センター 特任講師

表 6 検討会実施要領

検討会	実施年月日	主な議事
第1回	令和4年7月6日(水) ～11日(月)	本調査研究の方向性の確認及びガイドラインの構成案、ヒアリング調査、アンケート調査等の検討
第2回	令和4年9月5日(月) 14:30～16:30	アンケート調査及びヒアリング調査の結果報告、並びに試行実施方法及びガイドライン骨子案の検討
第3回	令和4年10月7日(金) 14:00～16:00	ヒアリング調査結果の報告及びガイドライン(試行版)並びに試行実施方法の検討
第4回	令和5年2月3日(金) 16:00～18:00	試行実施状況についての報告並びにガイドラインの最終版作成に向けた検討
第5回	令和5年3月2日(木) 13:00～15:00	試行実施結果の報告及びガイドライン最終版の検討

ガイドラインの概要は以下の通りである。

表 7 ガイドラインの概要

章	内容
はじめに	・ ガイドライン策定の背景及び目的
1. 本ガイドラインで使用する用語の解説	・ 専門用語の定義、解説
2. 性犯罪に関する基本知識	・ 性犯罪とは ・ 性犯罪の発生状況や再入率 ・ 性犯罪の再犯防止に関する取組状況
3. 性犯罪をした者の円滑な社会復帰のために必要な支援	・ 地方公共団体の役割 ・ 性犯罪をした者等の支援ニーズの把握 ・ 支援ニーズに応じた具体的な支援の在り方 ・ 性犯罪をした者の再犯防止のための取組における留意点 ・ 支援に関する広報の在り方
4. 性犯罪をした者の再犯防止のための支援における関係機関連携の在り方	・ 連携対象となる各機関の役割及び連携方策 ・ 法務省から関係機関への情報提供
5. ガイドラインに関する Q&A	・ ガイドラインに関する想定 Q&A
6. 参考資料	・ 刑法犯検挙者の再犯状況 ・ 全国の保護観察所・法務少年支援センター(少年鑑別所) 一覧
7. 付属資料	・ 支援ニーズに応じた支援をする際のツール(インテークシート ¹ 、セルフチェックシート ² 、STEPs-R ³ 、家族が相談できる機関記入様式、被害者が相談できる機関記入様式)

¹ 対象者のインテーク(聞き取り)の際に用いるシート。

² 法務省保護局が作成した、性加害から離れた生活を送るための取組を四つの領域にまとめたシート。

³ 保護観察所で実施されている性犯罪再犯防止プログラムにおいて使用されている教材「STEPs」を、地方公共団体向けに一部改訂したもの。

2.3 再犯防止のための地域ガイドラインの試行実施

再犯防止プログラムの内容の充実に向け、地方公共団体1か所において、「性犯罪の再犯防止に向けた地域ガイドライン～再犯防止プログラムの活用～（試行版）」の試行実施を行った。また、アンケート調査において、試行実施に関心があると回答したものの、試行実施を辞退した13の地方公共団体に対し、試行版のガイドラインに対する意見照会を行った。

試行実施の概要は表8の通りである。

表8 試行実施要領の概要

項目	概要
実施方法	試行実施は、試行版ガイドラインを自治体に配布の上、性犯罪をした者等の対応ニーズがあったときに都度活用していただく形で実施する。具体的には、「インタビューシートを用いた対象者のニーズ把握」を試行してもらうこととし、可能であればその後「関係部署や関係機関に対象者をつなぐ」及び「STEPs-Rを用いたプログラムを実施する」ことも含む。 対応した対象者には、相談支援（及びつなぎ支援やSTEPs-Rの実施）を受けた感想を簡単に聴取する。
実施時期	令和4年11月28日（月）～令和5年2月10日（金）
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試行実施前の研修 ・ インタビューシートを用いた対象者の状況・支援ニーズ把握 ・ 実施状況の報告 ・ 試行実施した相談支援対応についての対象者への意見聴取 ・ 試行版ガイドラインの内容や試行実施に関する書面ヒアリング ・ 試行実施不参加自治体への試行版ガイドラインについての意見照会

2.4 性犯罪や再犯防止プログラムの理解促進を図る研修等の企画及び実施

地方公共団体等に対して、性犯罪やガイドラインの理解促進を図る研修を企画し、計2回実施した。

第1回研修は試行実施予定の地方公共団体が出席し、第2回研修は都道府県20、指定都市13、計33の地方公共団体が出席した。

研修は、表9～表11に示す方法及びカリキュラムで実施した。

表9 研修等の実施方法

項目	第1回	第2回
実施形式	オンライン形式（Zoom）	オンライン形式（Zoom）
研修時間	約2時間	約2時間
実施時期	令和4年11月24日（木） 15：15～17：15	令和5年3月7日（火） 14：00～16：00
受講対象	試行実施予定の地方公共団体の再犯防止担当部署の担当者及び各都道府県の保護観察所	全都道府県及び指定都市（再犯防止所管部署の担当者等、各地方公共団体において出席者を選定）
その他	研修中に質疑応答の時間を設けたほか、後日メールでも受け付けた	研修中に質疑応答の時間を設けたほか、後日メールでも受け付けた

表 10 第 1 回研修（試行実施のための研修）カリキュラム

課目	時間	説明内容
開講	5 分	あいさつ、事務連絡
1 本事業の背景・目的	10 分	本事業の背景・目的、性犯罪をした者の再犯防止の取組における本ガイドライン及び試行実施の位置付け等
2 試行版ガイドラインの概要	10 分	試行版ガイドラインの具体的な構成、押さえるべきポイント等
3 試行実施の進め方	25 分	試行実施の進め方、実施上の留意点等
4 インテークの実施方法、STEPs-R の実施方法等	50 分	インテークを実施する際の留意点、自治体において STEP s-R を実施する際の留意点等
5 質疑応答	15 分	質疑応答、意見交換
閉講	5 分	あいさつ、事務連絡

表 11 第 2 回研修（「性犯罪の再犯防止に向けた地域ガイドライン」の活用に向けた研修）カリキュラム

課目	時間	説明内容
開講	5 分	あいさつ、事務連絡
1 本事業の背景・目的	15 分	本事業の背景・目的、性犯罪をした者の再犯防止の取組における本ガイドラインの位置付け等
2 ガイドラインの概要	25 分	ガイドラインの具体的な構成、押さえるべきポイント等
3 インテークの実施方法、STEPs-R の実施方法等	50 分	インテークを実施する際の留意点、自治体において STEP s-R を実施する際の留意点等
4 質疑応答	15 分	質疑応答、意見交換
閉講	10 分	あいさつ、事務連絡

※ 研修実施後にオンラインでのアンケートを実施し、参加者から意見や質問があった。